

日本応用藻類学会主催
日本応用藻類学会第 12 回大会
プログラム

開催日 2013年6月8日(土) 10:00~17:30

会場 東京都港区港南 4-5-7

東京海洋大学楽水会館大会議室

日程 口頭研究発表 (10:00~12:00)

第1回日本応用藻類学会賞表彰式(13:00~13:20)

ポスター研究発表 (13:20~13:50)

企画シンポジウム (14:00~16:10)

総会 (16:20~17:30)

懇親会 (17:45~19:45)

企画シンポジウム

「微細藻類の活用～水産種苗生産分野からの情報発信～」

数種の微細藻類は、これまで健康食品として利用されてきた。近年、それに加えて、バイオエネルギー生産あるいは余剰二酸化炭素の吸収処理など、多方面での有効利用の可能性が追求されるようになってきた。一方、わが国の水産分野では、「つくる漁業」が開始された1960年代以後、微細藻類は魚貝類の餌料として注目された。試行錯誤を繰り返し、餌料適性を持つ種類の選択、生産技術の改良が行われ、より省力化した効率的な生産や必要量を確保する工夫がなされてきた。そして、クロマグロまでも養殖されるようになった現在も、種苗生産の過程において生物餌料として微細藻類が必須であることには違いない。ところが、微細藻類生産にかかる労力や費用は大幅削減を余儀なくされている。限られた予算の中で、多様な給餌対象動物や、時代の要求に応じ、より高生産ならびに効率的な培養法などが求められている。

今回のシンポジウムでは、水産養殖（特に海産魚貝類の種苗生産）分野において長年活用されてきた微細藻類数種について、有用株の選抜育種、栄養価、利用方法の概要を紹介する。また、より具体的な利用の現状と必要性を知っていただくために、海産魚類の種苗生産過程で必須の動物プランクトン生産用餌料としての活用、また二枚貝類生産の餌料としての活用の現状を紹介する。

水産の中でも限られた海産魚貝類種苗生産分野ではあるが、重要な生物餌料である微細藻類の生産や活用事例から、将来が期待される微細藻類の多段利用に活かせる発想が描けることを、この企画の趣旨としたい。

14:00～14:10 S01 海産魚貝類の種苗生産過程における微細藻類の役割

岡内正典（水産総合研究センター・増養殖研究所）

14:10～14:40 S02 動物プランクトンの生産用餌料としての活用

小磯雅彦（水産総合研究センター・西海区水産研究所）

14:40～15:10 S03 二枚貝類の種苗生産用餌料としての活用

兼松正衛（水産総合研究センター・瀬戸内海区水産研究所）

15:10～15:50 S04 有用微細藻類株の選択とその利用、将来展望

岡内正典（水産総合研究センター・増養殖研究所）

15:50～16:10 総合討論

口頭研究発表（10:00～12:00）

- 10:00 A01 広島県竹原市周辺の海藻相
○加藤亜記・城内辰享（広島大学・生物圏・水産実験所）
- 10:15 A02 ホンダワラ類4種の造成群落の成長と蝸集魚
○須田健太*・大西祥平**・山河文広**・須田昌宏*・能登谷正浩*
（*岡部(株)応用藻類学研究所, **海士町）
- 10:30 A03 壱岐市郷ノ浦町地先におけるクロメの純生産量と脱落量の季節変化
○八谷光介・清本節夫・吉村拓（水研セ・西海区水産研究所）
- 10:45 A04 広島湾・周防大島におけるヒジキの季節消長
○吉田吾郎・島袋寛盛（水研セ・瀬戸内海区水産研究所）
- 11:00 A05 加工方法が間引きマコンブの保存中の色調に及ぼす影響
○木下康宣・野上智代・今村珠美・鳥海滋・清水健志（北海道立工業技術センター）
- 11:15 A06 海水中の栄養塩がヒトエグサの色調と生長に与える影響
○井上美佐（三重県水産研究所）
- 11:30 A07 排出CO₂を利用した海藻類の培養技術
○渡部鷹介*・瀬名波出**（*琉球大学大学院理工学研究科, **琉球大学工学部）
- 11:45 A08 高濃度CO₂海水を利用したクビレズタ養殖技術の開発
○永松和成・瀬名波出（琉球大学工学部）

第1回日本応用藻類学会賞表彰式（13:00～13:20）

ポスター研究発表 (13:20~13:50)

- P01 高知県沿岸域に生育するフクロフノリの季節的消長と再生長
○田井野清也*・宮澤英将**・坂下徹**・猪原亮***・岡見卓馬***・谷口正雄****・齋田尚希****・大山隼人*****・占部敦史***** (*高知水試, **室戸漁指, ***中央漁指, ****清水漁指, *****宿毛漁指)
- P02 ホンダワラ類5種の主枝の生育上限温度と成長適温
○馬場将輔 ((公財)海洋生物環境研究所)
- P03 温暖化する高知県で唯一残る天然カジメ群落と造礁サンゴ類の分布特性
○田中幸記*・目崎拓真*・田井野清也**・平岡雅規*** (*財団法人黒潮生物研究所, **高知水試・***高知大)
- P04 東日本大震災に伴う宮城県沿岸のアマモ・タチアマモ群落への影響とその後の変動
○村岡大祐*・玉置仁** (*水研セ・東北区水産研究所, **石巻専修大学)
- P05 わかめの脂肪代謝に及ぼす影響についての検討
○丸山弘子*・黄純聰*・川島麗**・木村武俊***・吉永恵子****・加原卓一****・仲野隆久**** (*北里大・医療衛生・病理学, **北里大・医療衛生・病態生化学, ***北里大・医療衛生・組織学, ****理研ビタミン株式会社)
- P06 フノリ抽出液の分子量分布
○田代有里・大濱友起・小川廣男 (東京海洋大・海洋科学・食品生産科学)
- P07 隠岐諸島中ノ島産紅藻カタソゾ属 *Chondrophyucus* の1新種
○須田昌宏*・前田高志**・四ツ倉典滋**・阿部剛史***・能登谷正浩* (*岡部(株)応用藻類学研究所, **北海道大学, ***北海道大学博物館)
- P08 隠岐諸島中ノ島に生育するアマノリ属の種
○須田昌宏・能登谷正浩 (岡部(株)応用藻類学研究所)
- P09 隠岐海士町沿岸の養殖マコンブの成長期の形態変化に及ぼす密度の影響と子嚢斑形成
○川越大・須田昌宏・能登谷正浩 (岡部(株)応用藻類学研究所)

16:20~17:30 総会

17:45~19:45 懇親会 (大学会館生協食堂)
